

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

■コミュニティだより

VOL. 74 (年4回発行)

■発行日 平成27年1月1日
 ■発行 三春まちづくり協会
 ■編集 三春まちづくり協会広報部
 三春町大字貝山字泉沢100-1 (旧若駒家)
 TEL/FAX (62) 3988

平成二十六年年度「まちづくり懇談会」 テーマ『空き地・空き家・空き店舗対策』

十一月十九日、三春交流館まほらのホワイエで、約七〇名の参加者を得て、平成二十六年年度「まちづくり懇談会」が開催されました。

▽久保副協会長あいさつ

今回は初の試みとして、「空き地・空き家・空き店舗対策」というテーマを設定しての開催となった。皆様と一緒に考えていきたい。

▽橋本副町長あいさつ

三春まちづくり協会の日頃の活動に敬意を表したい。桜川の整備、各施設の整備、除染作業等には皆様のご協力が不可欠なので、今後ともよろしくお願ひしたい。

▽日下部議長あいさつ

「開かれた議会」の一環として、町と共催でこの懇談会に臨んでいる。今日は町議会議員も多数参加している。この懇談会で町民の皆さんの多くの声を聴かせていただきたい。議会の活動については議会報に詳しく載せてあるので、ぜひお読みいただきたい。今後とも協働の精神で住みよいまちづくりを進めていきたい。

新年のご挨拶



三春まちづくり協会会長 華田 勝 寿

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

東日本大震災も、まもなく四年になろうとしております。三春町も震災での除染等の仮置き場もまわり、造成工事が進んでいるようであり、町内を見渡しますと、空き地、空き家がめだつております。まちづくり協会も、町とも話し合い、所有者と適正管理による利活用が出来ればと思っております。

今後とも、まちづくり協会の、指導ご協力をお願ひ申し上げます。年頭にあたり、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。



最初に町役場各課、議会事務局から配布資料についての説明がありました。説明のあった項目は次の通りです。

- 町からの配布資料
- ①町内に整備される復興公営住宅の進捗状況について (総務課)
- ②平成二十六年年度三春町の財政状況について (財務課)
- ③除染の実施状況について (除染対策課)
- ④にじく元気塾の参加者募集について (保健福祉課)
- ⑤平成二十六年産米の全量全袋検査について (産業課)
- ⑥一級河川桜川河川改修事業について (建設課)
- ⑦平沢字栄町地内及び上舞木字戸内地内の宅地造成について (企業局)
- ⑧平成二十七年年度三春町年度就学児童(予定)数 (教育課)
- 議会からの配布資料
- ①三春町議会の今年度の主な活動報告
- 町からのお知らせ
- ①初笑い「まほら」寄席 (生涯学習課)
- ②平成二十六年年度秋季特別展 三春猫騒動 (歴史民俗資料館)

- 三春町の「空き家・空き地・空き店舗対策について」
- ◎町内の空き家の現状
 - ・住宅：二八、非住宅：四八、空き地：二〇九
 - ・行政区長、組長の協力での外観目視調査をした。
- ◎空き家の課題
 - ・老朽化、倒壊の危険
 - ・固定資産税の税率
- ◎空き家所有者の特定及び実態調査
 - ・「空き家等対策の推進に関する特別措置法」成立後、空き家所有者へア

- まちづくり懇談会要望事項に対する回答
- ①八島川の改修について
- ②立木伐採について
- 主な質問と回答
- 「借入金金額は元金と利子を含んでいるのか」
- ・二十五年度の場合、元金は七億八三九〇万円、利子は億一六〇〇万円。
- 「除雪対策について」
- ・除雪車を九台(大型三台含む)増やした。これまでもより早く除雪ができるものと思ふ。排雪方法についても検討している。
- 「復興公営住宅の整備が進んでいるが、入居者は三春町民となるのか」
- ・恵下越は葛尾村が管理し、平沢は興営となる。東電との交渉が終わらないうちには住所の移転はできない。
- 主な意見、質問と回答
- 「花かこの移転とその後について」
- ・中町の蔵(ベニマル向)に移転する。現在の場所には別の入居者がある予定。旧三春中学校、桜中学校

- ンケートを実施し状況把握、意向確認をする。
- ◎空き店舗の状況
 - ・旧町内一三七店舗のうち、空き店舗は十五店舗、内賃貸希望は五件。
- ◎三春町街なか賑わい創出事業について
 - ・三春まちづくり公社が、情報収集、事業計画の策定、空き店舗のあつせん等を行う。商店街、商工会、三春まちづくり公社、三春町が共同で空き店舗対策に取り組む。

- 環境部会
- 通学路放射線量の調査を実施 (環境部会長 長谷川良一)
- 環境部会では、今年度も前年度に引き続き東京電力福島第一原発事故による町内通学路の放射線量測定を実施し、測定地点の数値の発表を行うことを計画致しました。
- 放射線量の測定場所(七十地点)及び測定日(八月十五日)及び九月二十日の間は前年と同じく行うことを決め、各地区の部員がそれぞれ地区を測定することといたしました。放射線量測定結果を見ますと、測定場所七十地点のうち前年と同じか下か十二地点が上昇していました。最高値は〇・二五マイクロシーベルトで〇・二三マイクロシーベルトを超えている地点は3地点あり、最小値は〇・〇七マイクロシーベルトで〇・一〇マイクロシーベルト未満のところは4地点ありました。また、測定中に自動車を通り過ぎていくと放射線量の数値が上昇するのが見られました。
- ※尚、通学路放射線量の各地点の測定値につきましては、「二覽表」と「グラフ」で表し一月に地区隣組を通して同覧によりお知らせいたします。

